

府老連

きょうと

2022.1
No.172



舞鶴市老連のリサイクル活動

地区内の「リサイクルゴミ」を回収

「東引土友愛クラブ」(岡安会長)では、リサイクルができる「分別ゴミ」の回収に取り組んで10年。きっかけは町内の高齢者から、「回収場所まで運ぶのがつらい」という声が寄せられたこと。

以来、会員が軽トラック3台で手分けして、毎月玄関先まで訪問して回収を行っています。全戸を訪問することで、一人暮らし高齢者の安否確認にもつながり、地域での老人クラブ活動への理解も深まってきました。

「Withコロナ」の新たな時代に向けて



(二財) 京都府老人クラブ連合会
会長 橋本 俊次

新年あけましておめでとーございます

会員の皆様には、健やかに新春をお迎えになられたこととお喜び申し上げます。
日頃から、本会の事業推進にご理解とご協力をいただいておりますことに、厚くお礼申し上げます。

さて、世界中が「コロナ禍」となり2年目に入りましたが、緊急事態宣言の解除後は、当府老連では、感染予防に十分注意しながら徐々に諸行事を再開してきました。

昨年10月の「京都府老人クラブ大会」に続いて、12月3日には「若手委員会設立10周年のつどい」を、無事開催することができました。

このつどいでは、式典に続いて、「シンポジウム」を開催し、座長の講師先生やパネリストの皆様から、所属の京都市・兵庫県・大阪府の先進的な取組をご紹介いただき、大いに刺激をうけ、大変参考になったところであります。

会員数の減少に歯止めがかからないなか、一人でも多くの高齢者、とりわけ若手高齢者に入会していただくことが大きな課題であり、そのためには、チャレンジ精神を持って組織を活性化し、「魅力ある多様な活動」を広げていく必要があります。

加入の呼びかけに当たっては、老人クラブへの参加が「健康長寿の一番の近道」であることを強く周知・PRしていきたいと考えておりますので、市町村老連におかれましても、引き続き会員増強にご協力をよろしく願います。

また、府老連では、「with (ウィズ) コロナ 新しい生活様式」で取り組む活動事例集」を発行し、府内の身近な取組をわかりやすく紹介しています。新型コロナウイルスは、感染者数が減少したとはいえ、感染力の強い変異株への懸念など、未だ終息は見通せませんので、本事例集も参考にしたいいただきながら、健康づくりや友愛訪問などの活動を継続していただきたいと思っています。

最後になりましたが、会員皆様様の益々のご健康とご活躍を心からお祈り申し上げ、新年のごあいさついたします。

謹賀新年

(一財) 京都府老人クラブ連合会 (きらりクラブ京都)

監事		常務理事		副会長		会長	
内海 均 (舞鶴市)	谷 義治 (南丹市)	下岡久五郎 (宇治市)	齊藤 正剛 (宮津市)	大道 俊樹 (綾部市)	松本 俊清 (笠置町)	藤井 重博 (京田辺市)	小和田宏子 (舞鶴市)
塚本 鈴子 (福知山市)	阿部百合子 (笠置町)	坂本 準子 (宇治市)	岡本 勇 (京丹波町)	林 昭 (亀岡市)	中島 英一 (木津川市)	小山 文明 (八幡市)	今堀 正嗣 (長岡京市)
上崎 勝彦 (向日市)	中川 剛 (事務局長)	武藤 守 (宇治市)	福本 淳子 (八幡市)	森口 茂樹 (京丹後市)	塩見 建男 (福知山市)	喜多 英男 (京田辺市)	橋本 俊次 (宮津市)



府民の皆さまと力を合わせ 京都の夢を実現

京都府知事 西 脇 隆 俊

あけましておめでとうございます。府民の皆さまにおかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年の新型コロナウイルス第5波では、これまでに経験したことのない感染拡大を引き起こしました。この波を乗り越えられたのも、すべての府民の皆さま・事業者の皆さま、そして医療従事者をはじめ関係の皆さまのご協力の賜であり、心から感謝と敬意を表する次第であります。

人類が対峙する新型コロナウイルスは、生命や健康を脅かすだけでなく、世界経済をも混乱に陥れました。われわれは感染予防対策を日常生活に取り入れ、ワクチン接種を進め、医療提供体制を整えるなど、この困難を乗り越えるため、力を合わせ立ち向かっています。

「あなたが一人で見える夢はただの夢だ。みんなで見える夢は現実になる」

～ A dream you dream alone is only a dream. A dream you dream together is reality.～

これは、ヨーコ・オノとジョン・レノンが伝えるメッセージです。

われわれは困難を乗り越えた先に見える「夢」を現実のものとすするため、力強く歩まなければなりません。夢の形は人それぞれですが、誰もが夢を抱き、夢に向かってチャレンジすることができる社会を築きたい。そのためには「府民と共に 京都夢実現プラン（京都府総合計画）」をさらに前進させる必要があります。

こうした中、これからの京都発展の原動力となる文化庁の京都移転、新名神高速道路の開通、大阪・関西万博の開催が続きます。時機を逸することなく、京都が持つ魅力の源泉である文化の価値をしっかりと国内外に発信することはもちろん、基盤整備を活かした産業戦略と一体となった雇用戦略の展開など、京都の夢を実現するため、着実に取り組んでまいります。

今年は寅年です。「寅」は動くを意味し、芽の出たものが成長していく年です。明治以来初の中央省庁の移転となる、文化庁の京都移転という新しい幕開けに向け、この一年がよりいっそう弾みとなりますよう、皆さまと一緒に夢に向かって邁進してまいります。

今年一年の皆さまのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げ、新年のごあいさついたします。

第42回

京都府老人クラブ大会

～ “withコロナ” 今こそ、健康づくりと支え合いを!! ～



橋本会長あいさつ



菅谷府議会議長



西脇知事

式典では、橋本俊次府老連会長が「コロナ禍に負けず、このような時期だからこそ、仲間同士で声をかけあい、健康づくりと支え合いの輪を広げていきましょう。」とあいさつ。

その後、京都府知事から「育成功労者表彰」「優良老人クラブ表彰」が、また、府老連会長から会長表彰が授与されました。

続いて、ご来賓の西脇隆俊京都府知事、菅谷寛志京都府議会議長から、高齢社会における老人クラブへの期待や温かい激励のお言葉をいただきました。

式典

第42回京都府老人クラブ大会が、10月15日に府内21の市町から117名が参加して、ホテルルビノ京都堀川で開催されました。

今回は、新型コロナウイルスの感染防止を図るため、参加規模を縮小し、また、日程も短縮しての開催となりました。

大会宣言

少子高齢化が進み、人口減少が本格化するなか、高齢者や子ども、障害のある人々など、あらゆる住民が相互に支え合いながら、安心して地域で暮らせる「地域共生社会」の実現が求められています。

そのようななかで、高齢者の当事者団体である老人クラブが、積極的に社会参加を働きかけ、健康づくりや地域づくりに貢献していくことはきわめて意義のあることです。

とりわけ、新型コロナウイルスの感染拡大というかつて経験したことのない災禍におかれている今日、感染防止のための「新しい生活様式」を取り入れながら、創意工夫を凝らした多様な老人クラブ活動を推進していくことが期待されています。

私たち老人クラブ会員は、「のばそう！健康寿命、担おう！地域づくりを」のメインテーマのもと、次の重点事項の実践を誓い、ここに宣言します。

- 1、高齢者の社会参加を働きかけ、仲間づくりの輪を広げます
- 1、健康づくり・フレイル（虚弱）予防で、元気高齢者をめざします
- 1、友愛活動を基盤に、行政や自治会、社会福祉協議会と連携した支え合い活動に努めます
- 1、高齢者の「消費者被害」や「交通事故防止」に向けた取組を地域で実践します
- 1、高齢者の尊厳が守られる諸制度・地域共生社会の実現をめざします

その後、福本府老連副会長が5項目の実践を誓った大会宣言を提起し、満場の拍手で承認されました。

最後に塩見副会長があいさつを述べ、式典の部を終了しました。



杉田さんへの知事表彰



京都府知事表彰受賞者

●育成功労者（15名）

梅原 三夫（宇治市）
小林 保夫（城陽市）
杉本 雅子（向日市）
鹿野 侑良（八幡市）
前川美智子（八幡市）
喜多 英男（京田辺市）
森島 秀行（精華町）
和田 栄雄（笠置町）
金谷 健次（福知山市）
中 龍雄（亀岡市）
三浦 香澄（亀岡市）
瀬野 康利（舞鶴市）
杉田喜美代（宮津市）
西原 宏（与謝野町）
藤田千佐子（与謝野町）

●優良老人クラブ（4クラブ）

明星の会（宇治市）
男山第二クラブ（八幡市）
松寿会（久御山町）
亀岡悠友クラブ（亀岡市）

京都府老人クラブ連合会会長表彰

●育成功労者（44名）

●優良老人クラブ（7クラブ）

●会員増強運動特別賞（2クラブ）

講演

講演の部では、「エアリハで介護予防（認知症予防はMCIが分岐点）」と題して、お笑い理学療法士 日向亭（ひなたてい）葵氏による、落語トリハバリを融合させた講演で、認知症の早期発見と予防についてお話しいただきました。

認知症にならないためにはMCI（軽度認知障害）の段階で早く気づき、早期に対応することや、「withコロナ」での健康づくりの秘訣についてヒントをいただきました。

参加者全員で予防体操「エアリハ」をしながら終始笑いの中、元気をもらって講演となりました。



最後の締めくくりとして、森口副会長があいさつを述べ、大会は盛会裏に終了しました。



全国老人クラブ連合会表彰

香川県高松市で開催予定の「第50回全国老人クラブ大会」が無観客開催になったことから、後日それぞれ表彰が伝達されました。受賞された皆様には、益々のご健勝とご活躍をお祈りします。

■活動賞

東引土友愛クラブ（舞鶴市）



岡安会長と舞鶴市老連役員の皆さま

■会長表彰（優良老人クラブ）

五ヶ庄南部喜老会（宇治市）



地元自治会での受賞記念祝賀会にて

■会長表彰（育成功労者）

田中 丈夫 綾部市老連会長



田中会長と綾部市老連役職員の皆さま

女性
委員会

女性リーダー研修会を開催（山城ブロック）

城陽市高連



活動発表表

午前の部は、府老連の武藤副会長のあいさつの後、木津川市文化財保護課石崎課長から地元山城町にある「椿井大塚山古墳」についての講義、続いて、常盤学園大学 向出佳司元教授から「生涯青春」今、求められる地域力」と題して講演があり、先生のユーモアのあるお話で会場は終始笑いにつつまれました。

開会と講話

12月7日に、山城ブロックの11市町から女性リーダー等104名が参加して、山城総合文化センター「アスパアやましろ」で開催されました。

午後はステージで活動発表が行われました。

また、ロビーでは長岡京市による手芸作品の展示がありました。
新型コロナウイルスの感染防止に注意しながらの開催でしたが、楽しく交流を深めることが出来ました。
なお、9月に予定されていた「丹波」丹後の両研修会は、新型コロナウイルスの拡大により中止。
「丹波ブロック」では、亀岡市老連作成の手作りマスクが、一言メッセージを添えて、参加予定者100名に配布されました。



亀岡市老連のマスクづくり



宇治市連合喜老会



八幡市老連

①「健康タップダンス」
②城陽市高連の「踊り」
③宇治市連合喜老会の「踊り」
④八幡市老連の「手話コーラス」
と続き、いずれの団体も熱の入った発表で、会場から大きな拍手が送られました。

兵庫県老連と交流 ～in 紅葉の京都～

午後は、宇治の「平等院」京都市の「將軍塚」を訪れ、紅葉真っ盛りの京都を満喫しました。

秋の京都を散策



社交ダンスの体験参加

八幡市立老人憩いの家「八寿園」で意見交換の後、民舞を見学し、社交ダンスを体験するなど、楽しく交流しました。

「八寿園」での交流

11月26日に、京都府と兵庫県老連の女性委員が、交流しました。令和元年の第一回目（神戸市内）に続き、今回は京都で開催。
兵庫県からは中村会長はじめ13名、京都府からは11名が参加し、意見交換の後、一同バスに乗り、秋の京都めぐりを楽しみました。



若手
委員会

若手委員会設立 10 周年のつどいを開催

12月3日、ホテルピノ京都堀川で「若手委員会設立10周年のつどい」が開催されました。

若手委員をはじめ110名が参加して、10年の歩みを振り返るとともに、「活動アピール」が提起されました。

開 会 ・ 式 典

橋本会長、武藤若手委員長のあいさつの後、第3代委員長の岡本勇さん、第4代委員長の眞下賢一さんに感謝状が贈呈されました。



武藤委員長



大道若手副委員長から「若手委員会10年の歩み」が報告され、今後めざすべき5つの「活動アピール」が提起。大きな拍手で承認されました。

活動アピール「今後に向けて」

- ① 若手高齢者の加入促進をすすめます
- ② 若手リーダーの育成に努めます
- ③ 若手高齢者のパワーが発揮できる「場」をつくります
- ④ 若手世代を視野に入れたクラブづくりを考えます
- ⑤ 地域再生に向けて、若手高齢者から発信します

基調報告・シンポジウム

続いて、大阪市立大学講師 大北規句雄氏から「これからの魅力ある老人クラブ活動」と題して、9つの活動ポイントについて基調報告をいただきました。

府老連中川事務局長の進行のもと、3名のパネリストで意見交換。

京都市老連の川島康伸副会長、兵庫県老連の中村美津子会長から「老連改革」等の取組について、提言をいただきました。

京都市・兵庫県の進んだ取組を参考に、今後、若手委員会がめざすべき活動の方向を見出すことができました。



パネリストの皆さま
(左から川島氏、中村氏、伊豆田氏)

交 流 会

最後は参加者全員でなごやかに交流。
京都市老連、大阪府老連、兵庫県老連の会長・事務局長さんのご出席のもと、これからの若手委員会のさらなる発展をめざして盛会裏に閉会しました。



シンポジウム



第3代岡本委員長



第4代眞下委員長



大北座長



コロナ禍での「会員増強運動」から

コロナ禍のなか、老人クラブの活動も自粛を余儀なくされましたが、一方で、健康づくりや友愛訪問の活動を継続しながら、会員増強に取り組んでいるクラブも数多くあります。そうしたなかから、特色ある取組事例を紹介します。

京丹後市 「法沢クラブ」 解散したクラブを復活！

特別賞

久美浜町の布袋野地区は山あいの美しい集落ですが、高齢化が進み、以前あった老人会も無くなりました。

住み慣れた素晴らしい故郷を守るためにも老人会を復活させようと、各隣組から1名、計5名の有志が発起人となり、令和元年十月より復活の取組をスタートしました。

●クラブを再結成

老人クラブという名前では抵抗のある人もいるだろうと、地域にある、眺望が素晴らしい「法沢山」にちなんで、「法沢クラブ」と命名。

概ね65歳以上の区民に呼びかけたところ、63歳から84歳までの賛同者が34名集まり、令和2年3月の設立総会にこぎ着けました。

クラブが誰からも親しまれ、いつまでも続くようにとの思いで「クラブの歌」も作り、高齢者でも歌いやすい、良い歌ができました。

歌詞には「故郷をまもるため、老いも若きも励ましあって、健康長寿の村づくり」そんな思いが込められています。

※令和3年度「会員増強特別賞」受賞

(事務局 山崎)



福知山市 「自由クラブ」 個人会員で、会員増強

特別賞

「地域にクラブが無い」、「一人でも加入したい…」そんな仲間の受皿となる「自由クラブ」は、市老連事務局が後押し、令和元年4月に5名の世話人でスタートしました。

まず、「活性化委員会」を設立し、「自由クラブ会則」を制定。

そして、会員を市内全域から募集する一方で、地域にクラブがない方や解散クラブからの会員を受入れた。さらに、スポーツクラブ等への参加を通しての入会も促進。

自由クラブは本部直轄であることから、様々な情報の共有が図れること、趣味のサークルやクラブをサポートできること、また、役員等リーダーとの人的交流を活かせることなどが「強み」として挙げられます。

●入会ルートの複線化を

令和2年4月の設立時に11名だった会員数は、今では43名と増えてきました。

今後は会員同士が集って、自主的な新しいクラブの立ち上げが期待されます。①地域の「単位クラブ」と、②市内全域の「自由クラブ」の複線のルートで、さらに会員を増やしていきたいと考えています。



自由クラブも参加して
初の入賞

※令和3年度「会員増強特別賞」受賞

(事務局 松本)

久御山町 「たんぽぽシニアクラブ」 個人会員がクラブを立ち上げ



新クラブのメンバー

(事務局 成瀬)

久御山町シニア連では、未組織の地区やクラブが解散された地域の受皿として、個人での入会を平成24年から制度化。個人会員になると、連合会の主催の行事に参加できます。

そうした中、令和3年4月に、個人会員8人により、「たんぽぽシニアクラブ」(寺西代表) が結成されました。

●府内初の取組に

クラブでは、当面、週2回のグラウンドゴルフと週1回の清掃活動を行っています。このクラブは、10年前に解散した2地区と、もともとクラブが無かった隣の地区の計3地区(自治会) からなります。代表は「理事」になるなど、シニア連の組織・事業にも参画しています。

このように①「クラブ解散」→②「個人会員」→③「クラブの再結成」という動きは府内初の取組とのことで、今後の活動が期待されます。

舞鶴市老連 組織体制の立て直して会員増強

舞鶴市老連は、平成9年の会員数9千人をピークに年々減少し、今では1,600人まで激減。府内で最も高い減少率となりました。

主な原因は、①組織や事務局体制が脆弱、②市老連に加盟していないクラブにも補助され、脱会が相次いだこと、が考えられます。そうしたなか、平成2年度から、体制の充実に向けた取組をスタートしました。

●行政との連携を密に

まず、平成2年度に、府老連の調整のもと、前和佐谷会長と役員が舞鶴市の副市長・福祉部長と懇談。会員数が激減している現状を説明し、市の支援を求めました。

その結果、①事務局に「活動推進員」を設置、②老人クラブへの補助は市老連加入のクラブを対象にするなどの支援が実現しました。

令和3年度から「老連改革」に本格的に着手。まずは7月に市高齢者支援課と行政懇談会を持ち、会長はじめ11名と、市からは課長さん等4名が参加。

舞老連は他市に比べて老人会への加入率が6.3%(福知山19.4%)しかないなどの課題を共有し、市側も、舞老連の行事に積極的に参加するとして、お互いに協力しあうことを確認しました。



舞鶴市と懇談

(事務局 大石)

●舞老連改革がよいよスタート

改革の柱としては、

①「広報の充実」

機関紙「舞老連」の刷新、女性委員会だよりやスポーツ大会などにより、周知・PR

②「活動の推進」

舞老連の愛称募集、演芸大会(11月)を市民にも公開、舞老連と単位クラブのコミュニケーション拡大

③「勧誘活動」

10月を「会員増強運動月間」とし、理事による日常的声かけ5人以上、脱会クラブ、特に、加佐・志楽地区を重点に、チームでの復活を呼びかけていくこととしました。

舞老連改革ははじまったばかりですが、改革が見えるかたちで「会員100人増」を目指そうと、現在、老連が一丸となって取り組んでいます。

令和3年度 市町村老連リーダー研修会

～「特殊詐欺の被害防止を!」「目指そう生涯現役!」～



京都府府警本部の講義

橋本会長のあいさつの後、「特殊詐欺の被害にあわないために」と題して、京都府警本部生活安全課犯罪抑止対策室の谷村彰裕室長補佐から講義をいただきました。

令和2年中の特殊詐欺の被害者202人の内、85%を高齢者が占めている現状が報告され、キャッシュカードや通帳の暗唱番号は、「絶対に教えない!」「渡さない!」よう、注意を呼びかけられました。

7月21日、ハートピア京都で85名が参加して開催されました。参加者一同講師先生の熱の入った話に聞き入り、これからの活動に大変役立つ研修となりました。

最後に、府老連の森口副会長から挨拶があり、研修会を終了しました。



「目指そう生涯現役」老人クラブへの期待」と題して、BOTOひようご事務局長の栗木剛先生から楽しく、元気のお話をいただきました。

「まず自分自身が活動を楽しむ」こと、そのためには、「一人ではなくみんなで一緒にすること、その結果として「会員増強につながる」ことなど、これからの活動のあり方について、示唆に富むお話をいただきました。

Withコロナ “新しい生活様式”で取り組む「老人クラブ活動事例集」を作成しました

見守り」など

■内容は

「感染防止対策」、「友愛活動」、「サロン活動」、「生活支援」、「サークル活動」、「子どもの



「このような時期だからこそ、仲間同士で声をかけあい、知恵を出し合い、つながりを途絶えさせないよう、一緒に頑張っていこう」と、コロナ禍でも介護予防や友愛訪問など、地域ぐるみで活動を継続している事例集を作成しました。

With(ウィズ)コロナ、これからは「新しい生活様式」を取り入れ、創意工夫を凝らした多様な活動がますます重要になってきます。本事例集を参考に、引き続き感染予防に注意しながら、活動を継続していきましょう!

市町村老連だより

笠置町老人クラブ連合会

会長 和田 栄雄

人口 1,263人

クラブ数 9

会員数 527人

65歳以上加入率 80.5%



■ちょっとした困りごとに応える

笠置町は人口1,263人と、全国でも2番目に小さな町です。

しかし、老人クラブの会員数は9クラブ527人、65歳以上の加入率は府内トップで、実に80%を超えています。笠置町は一人暮らしの高齢者世帯が多く、住民からは「家の電球を換えてほしい」「家の草が気になる」など、ちょっとした困りごとが老人クラブにも多く寄せられていました。

■高齢者が高齢者を支える

同じころ、笠置町社会福祉協議会では、「絆ネット事業」がスタートし、社協と老人クラブが共同して、平成27年に立ち上げたのが「ほのほのサービ

ス。おたがいさま」です。

「困った時はおたがいさま」を合言葉に、住民同士の見守りと助け合いの活動を地域ぐるみで進めています。

助ける側の

協力会員は現在28名で、うち老人クラブの会員が16名と、老人クラブもサービスの担い手となつていきます。

■コロナ禍での取組

コロナ禍により、二カ月は活動が中断していましたが、利用者のニーズが高いことから、活動を再開。

最近では、離れて住む家族からの安否確認を兼ねた「お弁当の配達」や「見守り」、「ごみ出し」など、依頼が増えました。

利用者の方からも「頼りにしてるで」「あんたらが、いてくれるので安心」など、うれしい声が多く寄せられ、支え合いの輪が広がっています。



(事務局 松岡)

伊根町老人クラブ連合会

会長 品川 義高

人口 2,012人

クラブ数 8

会員数 83人

65歳以上加入率 8.6%



■府内で最小のクラブですが

伊根町は人口約2,000人、府の最北端に位置する日本海に面した町で、町老連は会員数80人余りの府内で最も小さな老連です。

わたしたちは「いきいき」を通り越して、「うきうき」楽しく過ごせるような活動を目指しています。

■「こけんお守り」作り

女性委員会では、今年度「これに身につけていたら転ばない」と言われる「こけんお守り」を作ることになりました。布の袋の中には、梅干しの種を3つ、小豆も3つ入れますが、梅干しの種がなかなか集まらず苦労しましたが、160個ほどのお守りが完成。

手作りのお守りは、杜協ふれあいサロンや老人クラブの会員さん、登録ヘルパーさん等にプレゼントし、皆さん喜んでいただきました。

■日出サロンの交流で：

老人会の会員が一人もいない「日出」という地区のサロンに「蒲入」の女性委員が訪問。一緒にDVD体操やレクリエーションをしたりしてお守りをプレゼント。

「老人会に入ったら楽しいで、はいりないな」と誘ったりしました。話が盛り上がり、翌月、蒲入サロンと日出サロンの交流会が行われました。

「こけんお守り」の友愛訪問から、伊根町の高齢者の輪が広がりました。「うきうき」楽しい活動を日々目指していますが、この9月に待望の町老連広報誌「うきうき」を創刊しました。

(事務局 松岡)



日出サロンとの交流



「京都府老人クラブ連合会」と全国の「かんぽの宿」は
利用提携を締結しています。

◆特別割引対象プランのご案内



近江牛すき焼きプラン



お1人様1泊2食 《通常販売価格》

1室2名様以上 **15,800円～**

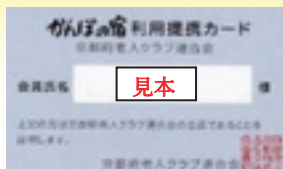
この冬！かんぽの宿彦根限定 特別割引を実施！

特別割引期間1月4日～2月28日

(土曜日、1月9日、2月11日を除く)

府老連会員1名様につき、1泊2食以上のご利用で1泊あたり

1,500円割引



同伴3名様まで割引

(府老連会員割引500円+特別割引1,000円)

合計1,500円割引

※近江牛すき焼きプランに限ります。
※詳しくはかんぽの宿彦根までお問い合わせください。

●表示の料金はすべて消費税が含まれており宿泊料金には入湯税(150円)が含まれております。 ●ご宿泊プランはご利用日、ご利用人数等により料金等が異なります。詳しくは当宿にお問い合わせください(掲載のご宿泊プランの料金は、「京都府老人クラブ連合会 利用提携」割引前の所定料金です。)
●仕入等の都合(又は季節)により料理内容及び器が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。●掲載の写真・イラストはすべてイメージです。
●暴力団関係者等反社会的勢力の利用をお断りします。●入れ墨(外ヶ)をしているお客さまは、他のお客さまから入れ墨(外ヶ)が見えない状態でのご利用をお願い申し上げます。

かんぽの宿 彦根

ご予約・お問い合わせ

☎ 0749-22-8090

〒522-0002 滋賀県彦根市松原町3759

FAX: 0749-22-8092



～近畿のかんぽの宿～

富田林 TEL0721-33-0700 大和平群 TEL0745-45-0351

奈良 TEL0742-33-2351 紀伊田辺 TEL0739-24-2900

有馬 TEL078-904-0951 赤穂 TEL0791-43-7501

淡路島 TEL0799-82-1073

府老連

2022. No. 172

きょうと

令和4年1月発行 発行人 橋本 俊次

発行 (一財)京都府老人クラブ連合会
(愛称: きらりクラブ京都)

〒604-0874 京都市中京区竹屋町通烏丸東入ル清水町375

京都府立総合社会福祉会館

(ハートピア京都) 8階

TEL (075) 256-7955 FAX (075) 256-7956

E-mail: mail@k-furouren.or.jp

URL: http://www.k-furouren.or.jp



きらっ都くん

編集後記

「コロナ禍」も2年目に入り、事業の縮小を余儀なくされました。そのような中、「若手委員会設立10周年のつどい」を、盛会裏に開催することができました。10年の歩みを振り返り、活動アピールも行う、これからの活動のあり方を模索することができました。また、皆さんコロナに負けずに、元気に活動が続けておられることを互いに確認することもできました。未だにコロナの収束が見通せませんが、このような大変な時だからこそ、老人クラブの意義や本当の良さ、楽しさを実感することができた一年であったと思います。(若手委員 武藤)